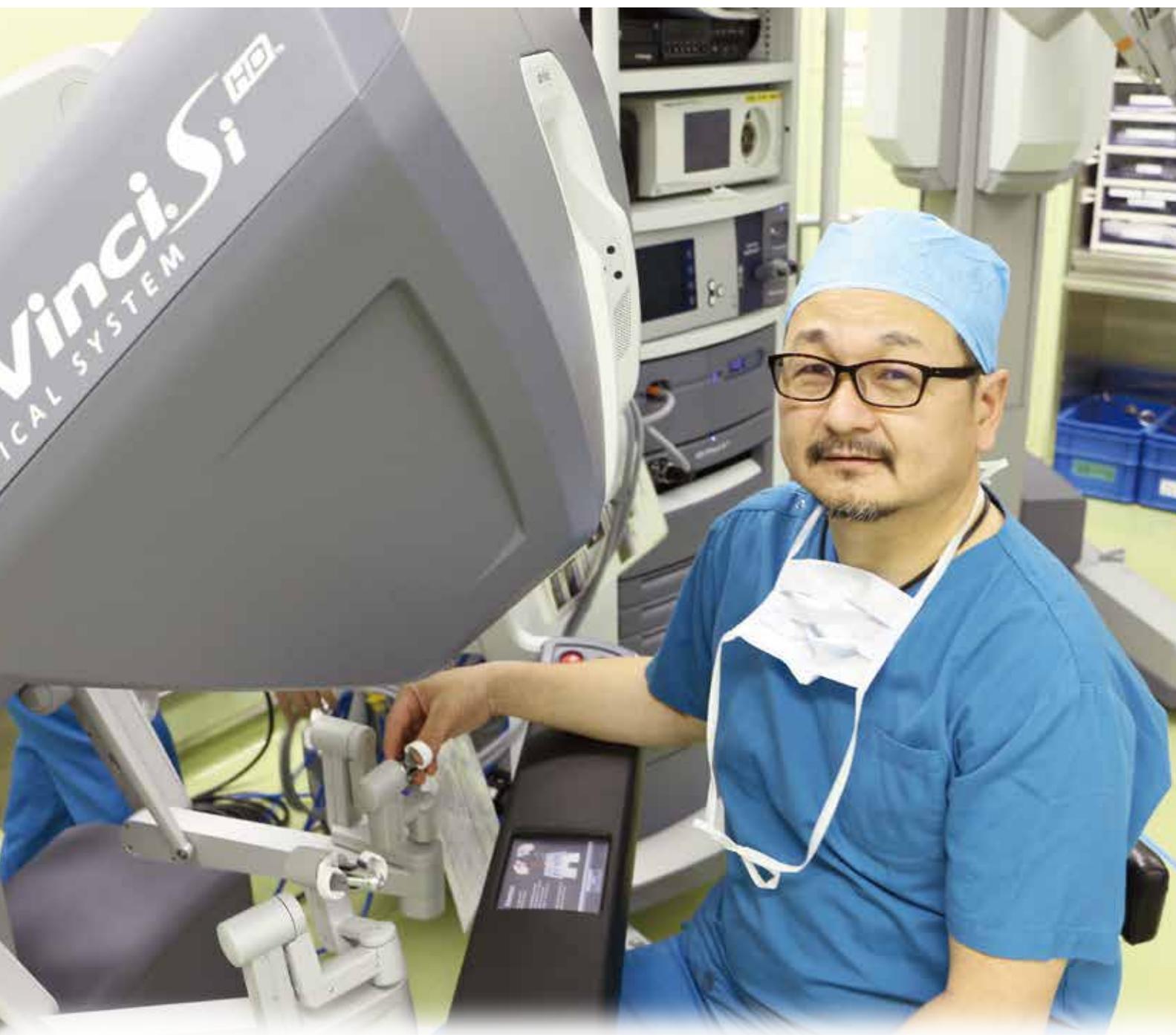


さざなみ VOL. 28



特集 湖北・湖東地域初

胃がんに対するダヴィンチ手術が保険適用開始

〈特集 胃がんに対するダヴィンチ手術が保険適用開始〉 〈地域連携だより〉
〈2018.9月～2019.1月の活動報告〉 〈看護師レポート〉

『ロボット支援 腹腔鏡下胃切除術を行っています』

当院では、手術支援ロボットであるダヴィンチによる胃がんの手術を開始いたしました。この手術支援ロボットは、現在全国で300台以上が導入され、滋賀県では5台が稼働していますが、湖北・湖東地区では当院の1台のみです。患者さんにとって様々な利点があるロボット支援による胃がん手術について、第一外科部長で副院長の塩見 尚礼医師に話を聞きました。



手術支援ロボット、ダヴィンチとは

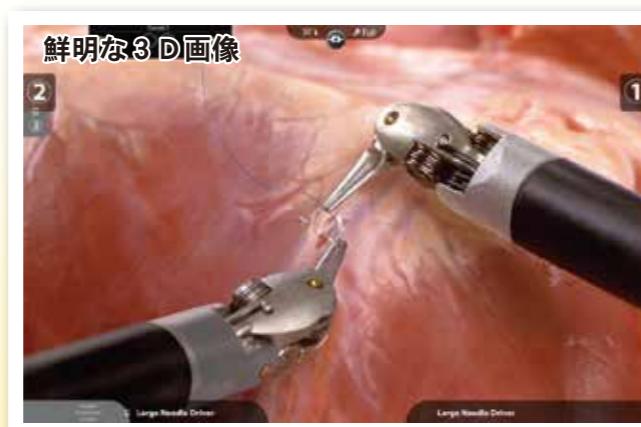
アメリカで開発された腹腔鏡下手術支援ロボットです。ロボットといっても、人間のような見た目をしていましたり、医師の代わりに自動で手術を行うわけではありません。手術を担当する医師がロボットを遠隔操作して手術を行います。具体的には、患者さんの体に数か所開けた1～2cmの小さな切開部から専用の内視鏡カメラとロボットアームを挿入し、医師は操作台に映し出される3D（立体）画像を見ながらロボットアームを操り、がんの切除や縫合をします。



右奥の操作台に座った医師が左のロボットを操作します

「患者さんの負担が少ない」ダヴィンチ手術

ダヴィンチには3つの優れた点があります。1つ目は鮮明かつ立体的な3D画像と最大約10倍まで患部を拡大するズーム機能。2つ目は人間の手以上の器用さと可動域を持った3本のアームとロボット鉗子。3つ目は手先の震えをシャットダウンし細やかな作業の安全性を高める手ぶれ防止機能です。これらの特徴により合併症の少ない精緻な手術が可能になるとされています。また、この手術は切開部が小さく傷跡や出血量が最小限に抑えられるため、患者さんへの体の負担が少なく、術後の早期回復が期待できます。



患部を最大10倍にして鮮明かつ立体的に表示する3D画像



胃がんについて

胃がんは、ヘリコバクターピロリ菌の除菌が進み、近年では減少傾向とされていますが、それでも2017年での死亡数は肺がん、大腸がんについて第3位です。早期胃がんであった場合は手術切除で完治できる可能性が上がります。ごく初期の場合には内視鏡でも切除が可能ですが、大きくなるとどうしても手術での切除が必要です。従来からの開腹手術、より体に優しく低侵襲な腹腔鏡下手術に加えて、今回、合併症の発症を抑えられるロボット支援手術という新しい選択肢を患者さんとともに選ぶことができるようになりました。



ダヴィンチ手術は外科医のみならず他職種チームによる力が必要です

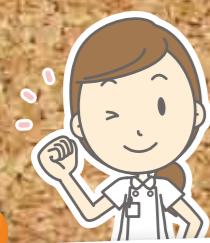
これからのダヴィンチ手術

3月現在、県内においてダヴィンチによる胃がん手術が保険適用になったのは滋賀医科大学医学部附属病院について当院が2病院目です。今後は、前立腺がん、胃がん以外にも腎臓がん、直腸がん、子宮良性疾患に対しても保険適用による手術を目指しています。引き続き、湖北・湖東の住民の皆さまに先進的で体に優しい低侵襲治療を提供させていただけるよう努めて参ります。

副院長(兼)第一外科部長 塩見 尚礼



日本外科学会指導医・専門医・認定医
日本消化器外科学会指導医
・専門医・認定医
日本がん治療認定医機構暫定教育委
・がん治療認定医
消化器がん外科治療認定医
日本肝胆脾外科学会高度技能指導医
日本胆道学会指導医
・日本脾臟学会認定指導医
日本内視鏡外科学会技術認定医
(消化器・一般外科)



活動報告



9月 子どもたちを守るためにできること

■児童虐待防止研修会を開催／9月14日(金)

当院では、院内虐待対応専門チーム:CPT (Child Protection Team) を発足し、小児科外来や救命救急センターの受診をきっかけとした虐待の早期発見、深刻化の未然防止のため活動を行っています。今回の研修ではCPTが関わった実際の症例、活動について報告を行い、職員や地域の医療関係者の皆さんに医療関係者として子どもたちを守るためにできることや、その重要性の理解を深めていただきましたことを目的として開催しました。当日は109名の参加者にお集まりいただきました。



10月 地域の医療関係者との繋がりがより緊密に

■第12回地域医療意見交換会を開催／10月6日(土)

恒例となりました地域医療意見交換会が今年もびわこホテルグラツィエで開催されました。今年の第一部は高齢者の睡眠をキーワードに、泌尿器科部長 原田吉将先生から「高齢者の夜間頻尿の対応」について、中部大学特任教授 日本睡眠教育機構理事長 宮崎 総一郎先生から「高齢者への睡眠アドバイス—認知症予防にも役立つ」という演題で翌日の診療からすぐに役立つ内容をお話いただきました。懇親会にも、院内外ともに多数のご参加をいただき盛大に執り行うことができました。



10月 がん患者さんと共に歩む

■リレー・フォー・ライフ・ジャパン2018／10月14日(日)

10月13日(土)、14日(日)、滋賀医科大学でリレー・フォー・ライフ・ジャパン2018が開催されました。この取り組みは、がん患者さんやご家族を支援し地域全体で「がん」と向き合い、がん征圧を目指すチャリティーイベントです。当院からはリレーウォークや相談ブースに参加しました。リレーウォークを行う周回コースは沢山のルミナリエバックで飾られており、沿道のブースも盛り沢山で、がん患者さんと様々な人が交流し繋がることができる場でした。



11月 災害時の備えを万全にするために

■大規模災害訓練を実施／11月10日(土)

病院敷地内において、大規模災害を想定した多数傷病者受入訓練を実施しました。訓練には、職員はもちろんのこと自治体や看護学生など関係機関から約300名が参加。柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯を震源とする震度7の地震を想定して訓練を行いました。湖北地方災害対策本部の中心となる長浜保健所職員の参加をはじめ、参加者の危機意識も高く訓練後には様々な意見が出ました。訓練での課題をもとに有事に対応できるよう、今後もより良い体制づくりに努めています。



11月 「人間ドック」きちんと受けていますか？

■第15回 がん講演会を開催／11月10日(土)

今回は、「人間ドックで何がわかるの？」というテーマで消化器内科部(兼)健診部部長 駒井 康伸先生より「健康診断」と「人間ドック」、「検診」と「健診」の違いや、がんの早期発見についてお話をいただきました。参加者の語り合いの場では、がん治療についての不安、家族はどうにサポートしたらいいのかなど参加者同士が語り合い、和やかな雰囲気の中で交流を持っていただきました。当院では、がん講演会を患者さんやご家族を対象に年間2回開催しています。次回は5月に開催を予定しておりますので、興味のある方は是非ご参加ください。



12月 一足早いクリスマスの贈り物

■恒例のクリスマスコンサートを開催／12月15日(土)

本館エントランスホールにて、毎年恒例のクリスマスコンサートを開催しました。出演には、湖北オーケストラ、長浜市民コーラス、長浜ギター・マンドリンアンサンブルの皆さんにご協力いただき、いつもは会計待ちの患者さんが並ぶホールにオーケストラによる生演奏や素敵なお歌が響き渡りました。入院中の患者さんやご家族、面会の方など2階から見る方も出てくるほど多くの方にあ越しいただき、「ジングルベル」を始めとするクリスマス定番曲を聴いて、入院中ながらもクリスマスの雰囲気を感じていただきました。



診療費のお支払いに便利な自動精算機を導入しました

患者さんの精算時における待ち時間を短縮するため、2月12日(火)より診療費のお支払いに自動精算機をご利用いただけるようになりました。現金のほか、クレジットカード(ICチップ付)でお支払いが可能です。なお、従来どおりに会計窓口でのお支払いもご利用いただけます。



【ご利用時間】

平日9:00～17:00 (休診日を除く)



【設置場所】

本館1階エントランスホール
(エスカレーター北側)

ご利用にあたり、ご不明な点等がございましたら、お近くの職員へお気軽にお問い合わせください。

地域医療連携課だより

長浜赤十字病院・連携医療機関のご紹介

✓ 長浜赤十字病院の役割とかかりつけ医との地域連携

本院は、急性期医療を行うとともに地域医療支援病院として、地域全体で適切かつ高度な医療サービスを提供するために、かかりつけ医・近隣医療機関と連携しています。地域住民のみなさまに一貫した切れ目のない医療や介護病院と診療所・薬局、そして介護サービス事業所や訪問看護ステーションで診療情報の共有を行っています。

✓ 住民のみなさまへ

よりよい医療の提供をしていくため、かかりつけ医（開業医）からの紹介状（診療情報提供書）を持参してのご来院をお願いします。また、病状が安定してきた患者さまには、紹介元診療所やご自宅近くの医院・クリニックをご紹介させていただいているます。

ただし、病状変化があった場合は今後も当院で対応します。急病の際は当院救命救急センターで対応します。

サービスを提供するために、かかりつけ医・近隣医療機関と連携しています。地域住民のみなさまに一貫した切れ目のない医療や介護病院と診療所・薬局、そして介護サービス事業所や訪問看護ステーションで診療情報の共有を行っています。



医療法人悠悠会 いそクリニック

直木先生からのメッセージ

医療者として、適切な診断・治療を行うのは当然ですが、患者の皆さまの不安をなくすよう、丁寧でわかりやすい説明を心がけています。通所・訪問リハビリテーションも行っており、また、訪問診療に対応する歯科を併設しています。



《医 師》 直木 正雄
《診 療 科》 内科、循環器科、消化器科、呼吸器科、放射線科
《住 所》 米原市磯1729番地1
《電 話》 0749-52-1100
《往診診療》 有 《訪問診療》 有

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:00~12:00	○	○	×	○	○	○
午後	14:00~18:00	○	○	×	○	○	○

※日、祝祭日は休診

※土曜の午後診療は16:00まで

太田 医院

太田先生からのメッセージ

一般内科・消化器内科を中心として、2名の医師が交代して診療を行っています。上部内視鏡（胃カメラ）検査や腹部超音波（エコー）検査を定期的に行ってています。在宅診療が必要な方には訪問診療を行い、かかりつけ医として地域に根ざした医療を目指していきたいと思います。



《医 師》 太田 賢
太田 賢
《診 療 科》 内科、消化器科
《住 所》 長浜市大井町185
《電 話》 0749-73-2032
《往診診療》 無 《訪問診療》 有

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:00~12:00	○	○	○	×	○	○
午後	18:00~20:00	○	○	○	×	○	○

※日、祝祭日は休診

堤整形外科

堤先生からのメッセージ

当院は整形疾患やリハビリ、リウマチ疾患を中心に2014年に開設いたしました。辛い痛みに耐えてこられた方にはまずはじっくりお話を伺い、患者さんの生活の質を改善することを第一に心がけ治療を進めてまいります。年のせいとあきらめずにご相談ください。



《医 師》 堤 聖吾、宮本 茂輝
《診 療 科》 整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科（火・金曜午前・土）
《併 設》 通所リハビリテーション メディカルフィットネスハイブリッド
《住 所》 長浜市八幡中山町393-1
《電 話》 0749-62-1414
《往診診療》 無 《訪問診療》 無

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	8:30~12:30	○	○	×	○	○	○
午後	15:00~19:00	○	○	×	○	×	○

※日、祝祭日は休診

松原歯科医院

松原先生からのメッセージ

当院は質の高い治療を心がけ、スタッフ一同、日々努めています。来院された患者様一人一人に合った治療を提供するため検査を行い、じっくりと話しをしてから治療に入るようにしています。



《医 師》 松原 徹
《診 療 科》 一般歯科、小児歯科 予防歯科、口腔歯科
《住 所》 米原市下多良一丁目16番地
《電 話》 0749-52-4555
《往診診療》 有 《訪問診療》 有

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:00~12:00	○	○	○	×	○	○
午後	14:00~18:00	○	○	○	×	○	○

※日、祝祭日は休診

※土曜の午後診療は16:00まで

看護師レポート



～院内全体で認知症ケアに取り組んでいます～

認知症看護認定看護師 川上 喜久男

他人ごとではない高齢社会と認知症

現在、高齢化率は27%を突破し、日本はまさに「高齢社会」となっています。ここ湖北圏域でも、65歳以上の高齢者は4万人(平成30年4月現在)を超え、高齢化率も27%を上回っている現状です。この高齢社会にともない、認知症の方は、現在推定500万人を超えており、2025年には700万人を突破し、高齢者の5人に1人が認知症を患うといわれています。

「その人らしさ」を大切にした認知症ケアへの取り組み

当院の患者さんにも認知症を患う方は年々増加しています。そこで当院では、看護師一人ひとりが認知症を正しく理解し、「その人らしさ」を大切にしたケアが提供できるよう様々な取り組みを行っています。例えば、認知症ケアチームや精神科リエゾンチームでは、看護師から患者さんや家族のケア相談を直接受け、認知症看護認定看護師を中心にケアに関する様々なアドバイスを行っています。また、認知症ケアプロジェクトでは「認知症対応向上研修」を開催し看護師全員に受講してもらうなど、取り組みを拡大しています。



今後も院内全体で認知症ケアに取り組み、認知症の方に入院生活はもちろん、退院後も安心して生活していただけるよう活動していきます。

お詫びと訂正

さざなみVol.27(2018年9月発行)の7ページの西川歯科医院 西川先生からのメッセージの記載の一部に誤りがございました。正しくは、「地域の皆さまのお口の健康向上に微力ではありますが、」です。関係者の皆様ならびに読者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げますとともに訂正させていただきます。

今回の表紙

手術支援ロボットダヴィンチ

今回の表紙は特集でも紹介いたしました手術支援ロボット da Vinci (ダヴィンチ) です。手術支援ロボットによる胃がん手術は、従来は先進医療に分類されており全額自己負担による高額な診療費でしか受けられることができませんでした。それが、昨年4月より保険適用が認められたことを受けて、当院では地域の皆さまが遠方へ行くことなく住み慣れた地域で安全で先進的な医療を受けていただけるよう入念に準備を行って参りました。今後も当院では高度で患者さんにやさしい医療を地域で提供できるよう医療環境を充実させていきます。



理念

「人道・博愛」の赤十字精神にのっとり、やさしさのある全人的医療を提供します

基本方針

- 常に研修・研鑽に努め安全で高度な医療を提供します
- 個別のニーズ、人権、プライバシーに配慮し、患者さん中心の医療を展開します
- 地域の保健・医療機関との連携を強化します
- 救急医療を充実し、災害救護や国際救援にも積極的に参加します
- 広報活動、住民教育、各種行事への参画などを通じ街づくりに貢献します

患者さんの 権利宣言

- 人権が尊重され、良質で適切な医療を受ける権利
- 医療上の情報提供・説明を受け、同意したのち医療を受ける権利
- 治療方法などを自らの意志で選択する権利
- プライバシーが保障される権利
- 他の医師などの意見(セカンドオピニオン)を求める権利
- カルテ開示を求める権利



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

長浜赤十字病院

滋賀県長浜市宮前町14番7号

TEL:0749-63-2111(代表) URL:<https://www.nagahama.jrc.or.jp/>